

秋も深まり書の条件が整う季節となりました。草書の古典「書譜」の中で孫過庭は、書を書くための良い時の条件を五つ挙げています。①気持ちのびやかで心楽しい時。②頭が冴えて理智の働きの明瞭な時。③気候が穏やかで湿度が適当な時。④紙と墨がよく調和する時。⑤感興が湧いて自分が書きたいと思う時。そこで、④⑤の条件を満たすためには何が必要か？第一に良い筆紙硯墨を整える事です。第二に実際には何が紙にめぐりあえず歯がゆい思いをしています。第二に展覧会に足を運び作品の魅力にふれて目を肥やし、自己のレベルアップに励んで頂きたいと思います。

漢字部 条幅課題

A 流水無情去 征帆逐吹開
相看不可別 更進手中盃

(李白)

流水は無情に去り、征帆は吹を逐いて開く。相看で別るに忍びず、更に進む手中の盃。流れる水は無情に去り、旅行の帆船は風を追って出て行く。互いに顔を見合わせるも別れるに忍びず、さらに手にしている杯を傾ける。

B 夜深吹笛移船去

(許渾)

夜深くして笛を吹き船を移して去る。夜ふけに、笛を吹きながら船を移す。

(しめきり)……………十二月十五日)

◎条幅出品券を作品の右下へ必ず貼付すること。

なお、作品の裏右下に段位、氏名を忘れず記入のこと。

※出品資格…五段以上。A・Bの両方同時に出品可。

※二点出品の場合、出品券の下部にA・Bを明記のこと。

※用紙は、半切縦が角半。

(選評) 師範・準師範の部

城雪君 「芙蓉」を題として書いて、切れ味のある線で上手くまとめた。津雪君 筆勢ある佳作。大字三字と下部が詩文の途中で分かれるのは如何か。古桃君 構え大きく堂々と風格のある作。粹瑤君 墨量もあり、深みのある熟練した筆使いと構成の秀作。春水君 自然な流れで気脈一貫、豊かな表情で申し分なし。

(助教以下の部)



山下 紀子

字の大小をよく考えて連筆し、小気味良く躍動している。



位ノ花 葉子

滋味豊かな線で五字を見事に配し、調和させた。



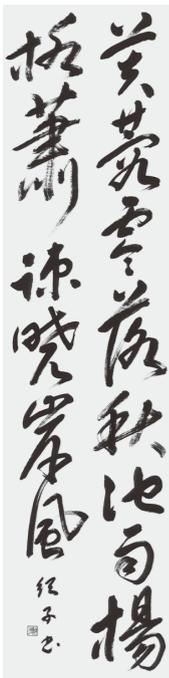
向井 富美

連筆の遅速、線の浮沈など自在の筆使いで彩あり。



田中 珠房

何よりも筆が良く立ち、丁寧。



山本 紀子

ゆつたりした心地よい連筆で気脈一貫した秀作。



木村 城雪



石田 津雪



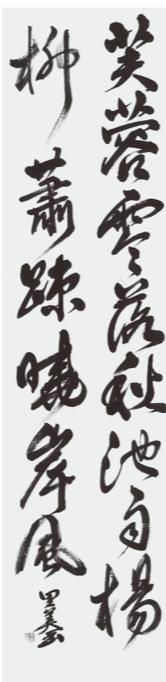
岩崎 古桃



山本 粹瑤

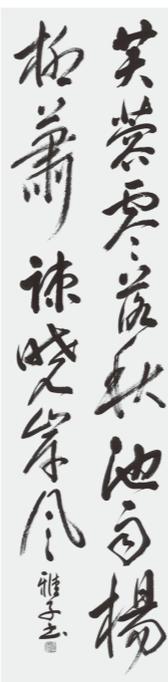


池田 春水



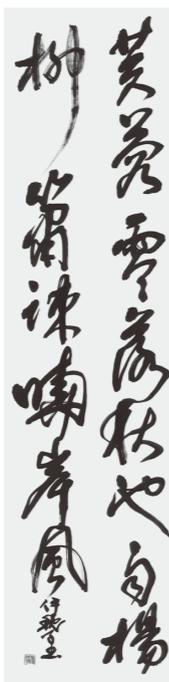
高橋 里美

しっかりとした結構法で力強い。意欲的でとても良い。



浅尾 雅子

着実な連筆で、墨量の変化もある佳作。



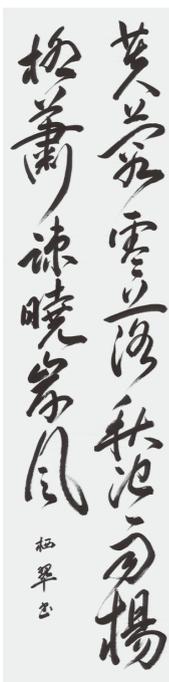
濱 伊穂子

軽快で息の長い線のリズムが作品を生かしている。



林 真三子

堂々と筆勢あり。紙面にとり組む意気込みが伝わる。



八代 栖翠

やや細いが字形が良く清潔感ある作。線の浮沈の修練を。